

李登輝 前 大統領の恩師



京大名譽教授・元京都産業大学長

柏 祐賢氏

(7日、京都市・真宗大谷派岡崎別院)

「先生が授けてくださった教えは、私の人生における原則となりました」

葬儀の冒頭、約600人の参列者を前に代理人が読み上げた台湾の李登輝前大統領(84)の弔辞は約800字。学問のみならず、人のあり方、生き方も学んだという恩師への敬愛の念があふれていた。

2人の出会いは昭和18年。京大(当時は京都帝国大)助教であった柏氏の「北支(中国北部)農業経済社会」などの講義を留学生の李氏が受講した。

平成16年の大みそか、李氏が京都を訪れ、恩師と61年ぶりに再会。柏氏は「100年たっても師弟は師弟。だが、この人(李氏)は天下人だ」と目を細めた。京大大学院准教授の長男、久さん(60)は「手を取り合い、

体を寄せ合って、心を通わすような再会だった」と振り返る。

柏氏の講義は学生たちを引きつけた。私語や居眠りをする学生はいなかったという。教え子だった男性(81)は「先生の講義は、次が楽しみで仕方なかった」と懐かしむ。

かといって、学生に迎合することもなかった。学生紛争時には学生部長として「暴力学生は去れ」と毅然(きぜん)と向かい合った。

農業経済学の権威として知られ、昭和37年の「農学原論」で農業研究の科学的視点を確立。著作集は25巻にも及んだ。

京大退官後に務めた京都産業大学長を平成8年に退いた。3月12日、京都市内の自宅で老衰のため死去、99歳。

(藤谷茂樹)